

一般社団法人 日本医療機器学会
2023 年度第 1 回理事会 議事録

日 時：2023 年 4 月 21 日（金）15:00～17:00

場 所：御茶ノ水トライエッジカンファレンス 11 階

（東京都千代田区神田駿河台 4-2-5 御茶ノ水 NK ビル）

出席者：高階 雅紀 理事長、林 正晃 副理事長

青木 郁香、東 竜一郎、臼杵 尚志、加藤 伸彦、川本 武、久保田 英雄、
小林 直樹、酒井 順哉、住谷 昌彦、中島 章夫、根本 裕司、深柄 和彦、
福田 修一、松田 和久、南 正人、美代 賢吾、安原 洋、の各理事
新 秀直、本田 宏志の各監事

欠席者：植竹 茂、小西 賢三、高橋 典彦、中野 壮陸、松原 一郎、矢富 裕

事務局：岩田 誠、池野谷 崇臣、桑原 祐子、寺嶋 秀之

1. 開会宣言、前回議事録の確認と議事録署名人の指名

冒頭、理事長が慣例に従い、議長として開会(会場・Web 併用会議)を宣した。

- 1) 定足数と出席理事の確認：定款第 36 条により理事 25 名の内過半数の 19 名が出席し、本理事会は有効に成立する旨の報告があった。
- 2) 本会の議事録署名人は定款第 37 条により理事長及び本日出席の新監事、本田監事を指名する旨の報告があり、出席者全員により確認された。
- 3) 2022 年度第 4 回(2023 年 3 月 31 日開催)理事会の内容確認があり、出席者全員により確認された。

— 定時総会資料 —

2. 各名簿の確認(2023 年 6 月 29 日定時総会資料)

- 1) 名誉・功労会員
- 2) 2021・2022 年度 役員及び各部会・委員会委員
- 3) 2022・2023 年度 代議員

別冊資料「2023 年定時総会(案)(以下。「総会資料」)」に基づき、上記 1)、2)、3)について理事長より確認を求めたところ、出席者全員異議なくこれを了承した。

3. 2022 年度事業報告(案)(承認)(定時総会報告事項)

総会資料に基づき、2022 年度事業報告(案)が原案通り承認された(内容は前回理事会にて説明・確認済み)。

4. 2022 年度決算報告書(案)(承認)(定時総会第 1 号議案)(福田財務委員長)

財務委員長より、総会資料に基づき 2022 年度決算報告書が説明された。前回理事会(2022 年度第 4 回)で決算見込みは説明済だが、決算が確定し下記の通り報告された。

・正味財産増減計算書については、前回の理事会で報告した通り決算見込値とほぼ同額で損益が確定した。各事業別で損益でもプラスとなったが、管理費を加味すると MDIC および事業体(受託展示)の 2 つの事業でマイナスに転じている旨の報告があった。

・貸借対照表については現金預金が増加した。受託展示関係で一時的に前受金として受けたものとの報告があった。出席者一同異議なくこれを承認した。

5. 監事監査報告（本田監事）

監事より、総会資料に基づき 2022 年度の監事監査を 2023 年 4 月 14 日に実施し、報告書に記載の通り、事業報告書・会計帳簿・計算書類等及び理事の執行状況についていずれも適正・適法である旨の報告があった。

以上を踏まえ、2022 年度決算報告書(案)について、議長より議場に諮ったところ全員異議なく承認された。

6. 2023・2024 年度選出役員(承認)（定時総会第 2 号議案）

理事長より、総会資料に基づき 2023・2024 年度選出役員（候補者名簿）が提案され、原案通り承認された（内容は前回理事会にて説明・確認済み）。

7. 2023 年度事業計画（案）（承認）（定時総会その他報告）

理事長より、総会資料に基づき 2023 年事業計画（案）が提案され、原案通り承認された（内容は前回理事会にて説明・確認済み）。

8. 2023 年度損益予算書（案）（定時総会その他報告）

理事長より、総会資料に基づき 2023 年度損益予算書（案）が提案され、原案通り確認された（内容は前回理事会にて説明・確認済み）。

9. 2022 年度褒章者について（論文賞・著述賞）（定時総会その他報告）

理事長より、総会資料に基づき 2022 年度褒章者受賞者の報告があり、出席者一同これを確認した。

（論文賞）：1 件

論文名：「再使用可能および再製造医療機器の洗浄性評価における新規残留タンパク質回収・定量法」

受賞者： 靱島 由二、植松 美幸、宮本 優子、伊藤 嘉章、内藤 朋子
藤井 慎二、高橋 裕一、迫田 秀行、岡本 吉弘、中岡 竜介

（著述賞）：1 件

著述名：「ナースのための ME 機器マニュアル 第 2 版」

受賞者：加納 隆、廣瀬 稔

10. 2023 年定時総会招集の件（承認）

事務局より、定時総会は、2023 年 6 月 29 日に「ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル 1 階 宴会場シルク」にて開催する旨の説明があり、出席者一同これを承認した。

—通常議題資料—

11. 定款第 4 章第 12 条の変更について（代議員数の変更）（承認）

前回理事会で議論された代議員の定数増の検討について、理事長より、定款第 12 条（代議員）における代議員数は、「100 名以上 120 名以内」となっているが、正会員数増に伴い、学会活動に積極的に関与して貰う代議員数を増やし活性化を図っていきたいこと、また、代議員数の上限・下限両方を定める意義について、下限を定める合理的な理由が見当たらないことから代議員数を上限設定のみに変更したい旨上程

され、審議の結果、代議員数の下限を撤廃し「150 名を上限」に定款を変更することについて、出席者一同これを承認した（定時総会第 3 号議案として上程）。

12. 委員会関連事項

1) 総務委員会（林委員長）

(1) 会員数の推移（入会者の承認・退会者の確認）

資料(名簿別添)に基づき、会員数の推移について説明があった。本日現在の会員数は、名誉会員 9 名、功労会員 1 名、正会員 6,143 名、企業会員 291 社。前年同期比で、正会員が 125 名減少、企業会員が 2 社減少した旨の報告があり、出席者全員これを承認した。

(2) 個人正会員の入会について（推薦なし、個別承認分）

推薦無しの新規個別個人会員 6 名の入会について報告があり、審議の結果、個人会員として入会を出席者一同承認した。

(3) 協賛・後援・共催依頼実績

協賛依頼無し、後援依頼 1 件、共催依頼無しと報告され、出席者一同これを追認した。

(4) 海外渡航費補助規定について(修正予算の承認を含む)

総務委員長より、海外渡航費補助規定の見直しについては、まだ審議に時間が必要であり現状理事会に同改定案を上程する状況に無いことから、喫緊の AAMI 渡航に関しては現行規定に準じて対応することとなること、一方、昨今の渡航費用高騰により現行規定では費用をカバーできないことから、総務委員会で検討した結果、2023 年度のみ特例措置として、海外渡航補助規定第 5 条における同一会計年度の渡航費補助金総額を年間 120 万円から 200 万円とし、1 名当たり 30 万円から 50 万円とする代替案が提案された。これに伴って 2023 年度改訂予算案が提示され、審議の結果、特別措置及び修正予算について出席者一同これを承認した。海外渡航費補助規定対象の 4 名の人選については、国際委員会で検討の上事務局へ報告する。海外渡航費補助規定改定案については、AAMI のみならず他団体との付き合い方、また世代交代で若い人材も積極的に参加できるような新たな渡航規定にするべきとの意見が出された。

2) 将来構想委員会（深柄委員長）

特に無し

3) 編集委員会（住谷委員長）

特に無し

4) 学術委員会（安原委員長）

(1) 安全対策委員会（南委員長）

(2) クリニカルエンジニアリング委員会（加納委員長代理 中島委員）

(3) 機器と感染カンファレンス委員会（長瀬委員長代理 高階理事長）

(4) 病院サプライ研究会（久保田委員長）

上記(1)～(4)特に無し

5) 滅菌技士認定委員会（高階委員長）

特に無し

6) 広報委員会（久保田委員長）

第 31 回日本医学会総会 分科会/加盟学会展示会場(行幸地下ギャラリー)で、各分科会がパネル展示を行っており当学会も展示しているとの報告がなされた。

展示期間：2023 年 4 月 1 日(土)～4 月 30 日(日)

展示場所：行幸地下ギャラリー(ガラスショーケース内 丸の内線 東京駅)

7) 国際委員会（青木委員長）

- (1) 2023 年度 AAMI メンバーシップ登録・費用および Primary の件（承認）

メンバーシップ登録については、現行登録 13 名に米国駐在連絡員長澤氏を削除し代わりに大坂氏を追加し 14 名とする旨報告があり、出席者はこれを承認した。

- (2) 2023 年度 AAMI スカラシップ基金拠出金の件（承認）

AAMI との良好な関係を継続する上での必要基金との報告があり、出席者一同これを承認した。

- (3) JSMI 米国駐在連絡員のこと

米国駐在連絡員として活躍された長澤氏が諸事情により退任することになり、サクラ USA の大坂氏に急遽現地対応頂く旨の報告がなされた。

[ISO/TC198 国内対策委員会]（東委員長）

特に無し

8) 医療機器 UDI 標準化委員会（酒井委員長）

各関係機関等におけるアンケート調査を引続き実施している旨の報告がなされた。

9) MDIC 認定委員会（臼杵委員長）

前回の理事会で承認された MDIC 更新 3 回以上のベテラン認定者に対する特別な呼称を募集する旨報告がなされた。

10) 事業体部会（松原部会長）

特に無し

11) 関係団体

- (1) (一財) 日本医科器械資料保存協会（事務局）

特になし

- (2) 日本医学会/日本医学会連合（安原理事）

- ① 評議員（担当 高階理事長）
- ② 連絡委員（担当 南理事）
- ③ 用語委員（担当 深柄理事）
- ④ 用語代委員（担当 住谷理事）

特に無し

- (3) 日本臨床検査標準協議会 理事（矢富理事長）

特に無し

- (4) (公財)医療機器センター 理事（高階理事長）

特に無し

12) 財務委員会（福田委員長）

特に無し

13) 利益相反委員会（安原委員長）

委員長より、日本医学会総会から COI 改訂に関するアンケート調査が来ており、年々 COI に関する開示内容が厳しくなっている。気になっている箇所は、学会等に企業等からどの程度の資金が入っているのかを利益相反として開示しろとの方向性が示されてる点。

医学会の中で当学会のように C 系・S 系から構成されている学会はなく、当学会はこういう形で COI 管理を行っているということをコメントとして出す、もしくはこうして欲しいと意見する予定。また開示が必要とされるなら開示できるとコメントしておく必要があると考えている。一方、C 系企業からの年会費等がそもそも開示すべきかどうかも含めて、この学会がどういう利益相反の下で運営されているのか等含めて検討しなくてはならない旨報告があった。

14) 倫理委員会（高橋委員長・代理事務局）

特に無し

15) 滅菌管理業務検討委員会（深柄委員長）

滅菌管理に関する教育ツールの進捗状況及び企業間との添付文章における回答内容について報告がなされた。

16) 100 周年記念事業実行委員会（安原委員長）

記念誌発行に向けての進捗状況報告がなされた。

13. 第 98 回大会開催について(深柄大会長)

第 98 回大会開催について、予定通り準備を進めている旨報告がなされた。

14. 今後の学会大会開催予定

1) 第 99 回大会（2024 年 6 月 20 日～22 日：パシフィコ横浜）（林大会長）

特に無し

2) 第 100 回大会（加藤大会長）

会場予約状況について資料に基づき説明があり、日程については 2 つ候補日があったが、審議の結果、以下日程で一同これを承認した。

日程：2025 年 6 月 12 日(木)～6 月 14 日(土)

場所：パシフィコ横浜(学会は会議センター3 階・5 階、展示は展示ホール A)

15. その他

6 月末の 2023 年定時総会で理事を引退される小林 直樹、松田 和久、酒井 順哉、3 名理事より退任挨拶があった。

臼杵理事より、昨今、他学会は災害発生時について色々検討を進めている。災害(デザスターのみならずパンデミックも含む)が発生した場合、医療機器については当学会(医療機器学会)が検討すべき課題・テーマではないかと考えているとの意見が出された。

これに関連して医療機器と言っても幅広い分野となるため、関連団体がどのような活動をしているのか、まずは現状確認から開始してはどうか。また、対象とする機器を絞って考察してはどうかとの意見が出された。

16. 閉会宣言（理事長）

その他の議題や質疑応答等がないことを確認し、議長が、16 時 55 分閉会宣言した。

以上

（議事録署名）

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため本議事録を作成し、理事長及び出席監事 2 名がこれに署名する。

2023 年 4 月 21 日

議事録署名人

（高階 雅紀 理事長）

議事録署名人

（新 秀直 監事）

議事録署名人

（本田 宏志 監事）